

製品名: SUFU マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86079**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間、アフリカン グリーン マウスオンキー、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	53.9kDa

抗原情報

遺伝子名	SUFU
別名	Suppressor of fused homolog, SUFUH, SUFU
遺伝子 ID	51684.0
SwissProt ID	Q9UMX1
免疫原	この SUFU 抗体は、ヒト SUFU の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

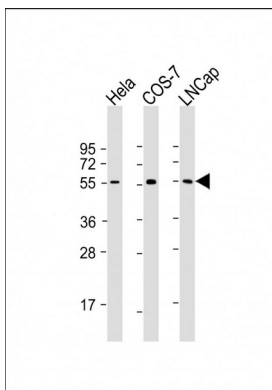
ヘッジホッグシグナル伝達経路の負の調節因子。標的遺伝子の GLI1 を介したトランス活性化を下方制御します。DNA に結合した GLI1 に作用するコリプレッサー複合体の一部です。また、GLI1 を BTRC に結合させ、それによって GLI1 をプロテアソームによる分

解に誘導する働きもあります。細胞質内に GLI1、GLI2、および GLI3 を隔離しますが、この効果は、SUFU と GLI タンパク質の両方に STK36 が結合することで解除されます。β-カテニンシグナル伝達の負の調節因子です。全長 GLI3 (GLI3FL) のリプレッサー型 (GLI3R) またはアクチベーター型 (GLI3A) の形成を制御します。GLI3FL は細胞質内で SUFU と複合し、中性状態に維持されます。Hh シグナルがない場合、SUFU-GLI3 複合体は繊毛にリクルートされ、GLI3FL から GLI3R への効率的なプロセッシングが行われます。Hh シグナル伝達が始まると、SUFU は GLI3FL から解離し、GLI3FL は核に移行し、そこでリン酸化、不安定化、転写活性化因子 (GLI3A) に変換されます。毛包の適切な形成と表皮分化の制御に必要です (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



全レーン: 1:2000 希釈の抗 SUFU 抗体